

第7回『たのしい科学のひろば』開催

どの実験・観察・工作コーナーにも驚きと笑顔がいっぱい！

2013年12月23日(祝)に理学部V号館で『たのしい科学のひろば』が開催された(主催:東邦大学理学部・理学部鶴風会、共催:千葉県立現代産業科学館、後援:船橋市教育委員会・習志野市教育委員会・八千代市教育委員会)。この企画は「日本の未来を担う子供達に科学のおもしろさを伝えたい」との想いで、2007年から始まった。第7回となる今回の参加者は、近隣の小中学生127人で、前回よりもさらに賑やかな企画となった。

この日に実施されたテーマは『回転の不思議』『レゴでつくるランドヨットレース』『暗やみで光るスライム』『アルミニウム板でネームプレートをつくろう』などの実験・観察や工作、全部で32コーナーが用意され、参加した児童生徒達はお目当てのコーナーに行き興味津々、科学のおもしろさに歓声をあげていた。各コーナーの指導は、理学部同窓生の中高教員、教員養成課程の在学学生、本学理学部教員などが担当した。参加した子供達だけでなく、担当した学生たちや本学教員も子供たちと一緒に多量に実験・工作を楽しんでいた。教員志望の生物分子科学科4年生の飯島紀子さん・佐々木奈菜さんは「身近なものを使って光の性質を伝えたい」との思いから「ファイバーレーザーを作ろう」を実施。「子供達の『すごい!』という声と笑顔が印象的でした」と顔をほころばせた。会場には、まさに『たのしい科学のひろば』と言うにふさわしい、楽しく知的な時間が流れていた。

(58年生物 佐藤浩之)

